

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）

**多様なしごとづくり事業委託業務**

# **実 施 報 告 書**

**平成 28 年 3 月**

**北 海 道**

# 目 次

<b>I 担い手不足の地場産業の掘り起し実績</b>	
(1) 調査方法.....	1
(2) 調査対象.....	1
(3) 調査内容.....	1
<b>II 好事例調査実施実績</b>	
(1) 調査方法.....	8
(2) 調査対象.....	8
<b>III 地域産業の発展に向けた障がい者雇用セミナーの開催実績</b>	
(1) PR 方法及び対象.....	10
(2) セミナー開催場所及び回数、出席者数.....	10
(3) 実施内容.....	11
(4) 実施による効果 .....	20
<b>IV モデル構築及び成果指標などの実績</b>	
(1) 地場産業における障がい者就労の場づくりモデル地域の取り組み概要 ...	38
(2) モデル地域での障がい者の就労又は就労訓練実施実績.....	42

# I 担い手不足の地場産業の掘り起し実績

## (1) 調査方法

既存の資料や連携団体である「一般社団法人北海道職親連合会」が持つ情報等により基礎情報を収集し、不足がある場合は各産業の組合や協会等の関連団体への問い合わせ等により福祉事業者、地場産業に携わる民間企業の情報収集を行った。

## (2) 調査対象

実施主体や産業分野が大きく偏らないよう配慮した上で、50団体の企業・団体のリストを作成した。

### 【実施主体】

実施主体の分類としては、障がい者就労支援事業を行う「福祉事業者」と地場産業に携わる企業の2つとした。

福祉事業者	地場産業 (福祉事業者以外の企業)
・道内の障がい者就労支援に取り組む事業者のうち、地場産業に関係する業務に携わる団体	・障がい者雇用を行っている民間企業 ・障がい者雇用に関心のある民間企業

### 【担い手不足の地場産業の分野】

障がい者の就労の場として開拓する「担い手不足の地場産業」の分野として、①農業、②水産業、③商工業、④観光業（宿泊業・飲食サービス業）、⑤福祉の5つとした。

## (3) 調査内容

北海道内の福祉事業者および障がい者雇用を行う民間企業等に関する基礎情報（事業概要・産業分野・障がい種別・就労支援事業の実施・会社概要等）の収集を実施した。

情報収集した団体の内訳

障がい者就労支援に取り組む団体で、地場産業に関連する仕事をしている団体 (A)	障がい者雇用を行っている民間企業 (B)	障がい者雇用に関心のある民間企業 (C)	その他 (D)	合計
18 団体	24 団体	5 団体	3 団体	50 団体

地場産業で障がい者雇用を行っている会社団体及び障がい者の可能性がある会社・団体 一覧

ID	実施主体 (A~D)	会社名／団体名	所在地 (市町村)	事業概要	産業分野						障がい者の障がい種別				就労支援事業の形態				会社概要				
					農業	水産業	商工業	観光業	福祉	その他	身体	知的	精神	その他	A型	B型	移行	その他	住所	電話番号	従業員数		
1	A	バリアフリーホテルあすなる(社会福祉法人江差福祉会)	乙部町	2015年に乙部町にオープンしたホテル。従業員はホームヘルパーの資格を取得しており、要望があれば身体介助も行うことができる。スタッフの半数以上が障がい者である。(就労支援A型事業所)				●								●					乙部町字館浦494-1		33
2	A	株式会社 みるみるファーム(農業生産法人)	石狩市	(社福)はるにれの里有志にて障がい者の一般就労を図るべくH22に設立される。㈱ツムラ様と生業の委託栽培契約締結し、A型の施設外就労や昨年1名の直接雇用実績あり、障がい者の雇用拡大を目指す法人。	●											●	●				石狩市厚田区聚富488-1	0133-62-8360	
3	A	(一社)いぶり花づくりネットワーク・株式会社ネットワーク	登別市 室蘭市	室蘭と登別にて、造園業や無農薬野菜づくり販売等を行っている。登別では今年5月1日より「共生サロンファイト」高齢者・子供・障がい者の交流サロンが開設された(就労支援A型事業所)(室蘭・登別心身障がい者職親会会員)	●						●	●				●					登別市富岸町1丁目10番地7(㈱ネットワーク)	0143-85-1145	40
4	A	合同会社農場 たつかーむ	壮瞥町	有機農法と自然養鶏を中心に、障がい者の有無に係わらず共生して事業展開している法人で、工賃も道内では安定を維持している。(就労支援A型事業所)(西胆振心身障がい者職親会会員)	●							●				●					有珠郡壮瞥町字立香92-12	0142-66-3345	25
5	A	エフピコ愛パック株式会社 北海道工場	石狩市	広島県のエフピコグループで、エコトレー容器的製造・回収選別作業を行っており、戦力として働いている。H26ダイバーシティ経営企業(就労支援A型事業所)				●			●	●	●	●	●	●					石狩市新港西2-780-6	0133-76-1171	
6	A	社会福祉法人北海道光生会 南美唄福祉工場	美唄市	マットレスの製造工場で、障がい者が就労しており、その製品グレードは高く、ホテルや福祉施設にて使用されている。(就労支援A型事業所)				●								●					美唄市南美唄町西町	0126-64-2261	
7	A	株式会社北海道名阪きのこ王国	伊達市	道央圏にて、きのこ生産販売とレストラン・お土産店を取り扱う企業で、生産工場において、きのこボット管理作業にて長年雇用。以前は、きのこの対面販売の雇用もあったとの事。(西胆振心身障がい者職親会会員)				●				●	●								伊達市大滝区三階滝町637-1	0142-68-6270	82
8	A	社会福祉法人ノテ福祉会・就労支援A型事業所「なかま真栄」	札幌市	高齢者施設における住環境の整備・ランドリー業務を行い、最近ではセントラルキッチン(集中調理室)においての野菜洗浄・切り込み補助作業も行われている。(就労支援A型事業所)							●					●					札幌市清田区真栄434番地25	011-885-8787	
9	A	(福)札幌緑花会 砂川希望学園ワーク望	砂川市	花・野菜育苗成と販売。米生産。農園受託作業(就労支援B型事業所)(ナイスハートネット北海道より)	●							●					●				砂川市焼山345番地	0125-52-4375	

ID	実施主体 (A~D)	会社名/団体名	所在地 (市町村)	事業概要	産業分野						障がい者の障がい種別				就労支援事業の形態				会社概要				
					農業	水産業	商工業	観光業	福祉	その他	身体	知的	精神	その他	A型	B型	移行	その他	住所	電話番号	従業員数		
10	A	NPO法人森の家	中標津町	鍼灸院からの依頼で、もぐさの袋詰め作業や春～秋はJA農場等に野菜やブロックリー工場にての外部委託で行っている。就労支援継続B型施設(ナイスハートネット北海道より)		●						●	●	●	●		●				標津郡中標津町東十一 条南7丁目21番地	0153-72-5242	
11	A	一般社団法人らぶらす ゆうばり共生型ファーム	夕張市	廃校の旧夕張小学校を活用して、「ゆうばり共生型ファーム」を運営し、交流カフェや、体育館において、アスオアラやチコリを栽培している。(就労支援A型事業所)	●								●	●		●					夕張市本町5丁目52 番地	0123-57-7370	
12	A	一般社団法人 ばれつ とふあーむ	夕張市	廃校の旧夕張市幌南中学校を活用して、植物野菜等栽培している。(就労支援A型事業所)	●								●			●					夕張市南部夕南町18 番地	0123-53-6600	
13	A	企業組合 ウェルフェア グループ くしろわんこ	釧路市	ペットサービス事業としてドッグカフェと犬の美容室、事業所内軽作業を行っている。(就労支援A型事業所)(釧路市職観会事務局)							●	●				●					釧路市芦野2丁目10番 15号	0154-37-7915	30
14	A	社会福祉法人 浦河向 陽会 青空	浦河町	地元企業より依頼を受けて、加工昆布の袋詰め・計量・圧縮・袋詰め・ゴミ取り作業を行ったり、漁師からの委託でコンブ干し作業や繁忙期の農作業等を行っている。(就労支援B型事業所)	●	●						●					●				浦河郡浦河町向が丘 西2丁目568番地の66	0146-22-6243	20
15	A	社会福祉法人 平取福 祉会 さるがわ	平取町	作業内容 畑作・椎茸栽培・木工作业・くん炭を行っており、特徴的なのは「根わさび」を栽培して加工販売している。(就労支援B型事業所)	●							●									沙流郡平取町振内町9 7番地	01457-3-3676	
16	A	社会福祉法人富良野 あさひ郷 サポートス テーション栄町・多機能 型デイセンターめぐみ 野	富良野市	ラベンダー園や老人施設清掃や、各種製品加工、JA富良野ソース製造等を行っている。(ハートネット北海道より)	●							●					●	●			富良野市栄町11番11 号	0167-39-2940	
17	A	社会福祉法人古平福 祉会 れい明の里	古平町	地域での企業経営破たん等、経済が乏しい中、旧古平高校を活用した高齢者複合施設「ほほえみくらす」内において、売店・食堂(ホール・厨房)等において就労の場を設け、B型施設の日中活動出張所として3か所をローテーションでまわして働いている(れい明の里職観会事務局)						●		●	●			●					古平郡古平町大字浜 町893番地5(ほほえみ 「くらす」、古平郡古平 町大字歌葉町204番 地9(法人)	0135-42-3820 (多機能事業所 ぶらつとふあー む・職観会事務 局)	
18	A	社会福祉法人新生会 風連別学園・初山別学 園	初山別村	道の駅☆ロマン街道しよさんべつ レストハウスともしび・レストラン北極星において、B型就労支援の園外作業として、ホテル清掃やレストハウス内作業等道の駅内での作業を行っている。				●				●					●				苫前郡初山別村字明 里165-7	0164-67- 2377	

ID	実施主体 (A~D)	会社名/団体名	所在地 (市町村)	事業概要	産業分野						障がい者の障がい種別				就労支援事業の形態				会社概要				
					農業	水産業	商工業	観光業	福祉	その他	身体	知的	精神	その他	A型	B型	移行	その他	住所	電話番号	従業員数		
19	B	中央水産株式会社	稚内市	知的障がい者を雇用し、干し珍味、イカや姫ホッケなどの一夜干しなどの海産物食品加工を行っている。(稚内市職親会会員)		●							●								稚内市末広2丁目6番25号	0162-22-9607	53
20	B	株式会社エムリンク	佐呂間町	高齢者施設において利用者のケアや施設清掃等の仕事を障がい者が担っている。知的障がい者の他、精神障がい者の割合が高い。就業環境を配慮したり、本人の精神状態などのケアを行っている。						●											佐呂間町字浜佐呂間160番地の21		122
21	B	ホテル奥田屋	稚内市	養護学校卒業生が勤務するホテル。宴会場の準備や片づけ、部屋の掃除等の仕事を行っている。(稚内市職親会会員)									●	●							稚内市大黒3丁目7-17	0162-23-2118	
22	B	株式会社ヨシダ	苫小牧市	地元産の木材を中心に製材加工を行っている。知的障がい者を雇用し、わかりやすい適切な指示で10年以上の就労継続に繋げている。(苫小牧心身障がい者職親会会員)										●							苫小牧市あけぼの町3丁目4番7号	0144-55-0830	26
23	B	日乃出食品 株式会社	七飯町	道南地域には馴染み深い、豆腐販売製造企業。障がい者雇用あり。近郊の養護学校との関係協力も築かれている。H26年度の1月帯広開催「障がい者雇用に向けての意見交換会」参加企業。										●							七飯郡緑町3丁目2番1号	0138-64-0853	55
24	B	室蘭パルス電子株式会社	室蘭市	精密機械工場での雇用であるが、反復作業の連続でも作業に適して永年勤続の従業員がおり、これからも障がい者雇用の拡大に努めている企業である。(室蘭・登別心身障がい者職親会会員)										●							室蘭市日の出町1丁目10番13	0143-43-6644	
25	B	株式会社 丸い佐藤海産	別海町	帆立等の水産加工を行っており、身体・聴覚・知的障がい者7名を雇用している。工場では高齢者や多国籍の方等、全員が戦力として働かれており、皆が共通認識できるようにポスター表示や、様々な工夫を行っている企業である。		●							●	●							野付郡別海町尾岱沼潮見町113-2	0153-86-2312	170
26	B	株式会社 ニチイ学館 ニチイケアセンターくしろ	釧路市	介護サービス現場において様々な受入研修・雇用を実施し、その方にあつた業務の切り出しや配慮を行っている。有料老人ホームでの介護職や清掃・デイサービス運転手等、障がい理解を踏まえつつ雇用している。						●			●	●							釧路市文苑4-66-15	0154-39-2771	
27	B	健康とうふ株式会社	苫小牧市	小規模で家庭的な関係構築と、指示系統が混乱しないよう特定社員を「職親」として配置する等、個々の特性に合わせて雇用安定を図り、同時に社員のレベルアップに繋げて高品質の商品製造に繋げている。H26ダイバーシティ経営企業(室蘭・登別心身障がい者職親会会員)										●							苫小牧市光洋町1丁目11-1	0144-73-9854	9

ID	実施主体 (A~D)	会社名/団体名	所在地 (市町村)	事業概要	産業分野						障がい者の障がい種別				就労支援事業の形態				会社概要			
					農 業	水 産 業	商 工 業	観 光 業	福 祉	そ の 他	身 体	知 的	精 神	そ の 他	A 型	B 型	移 行	そ の 他	住 所	電 話 番 号	従 業 員 数	
28	B	有限会社鳥海	函館市	個人経営で地域に根差したパチンコ店。障がい者雇用や、景品に授産施設景品を置いたり、2Fを地域で活用できるフリースペースで提供する等、様々な工夫を行っている企業。			●													函館市美原1-13-15	0138-43-8081	32
29	B	三津橋農産株式会社	下川町	トドマツ・カラマツ製材企業。各地工場において直接雇用や職場実習を永年受入しており、主に木材の結束係として工場内で活躍している。(なよろ地方職親会会員)	●							●								上川郡下川町幸町12 2	01655-4-2555	
30	B	(株) 牧家	伊達市	牧場・乳製品製造販売企業で、平成10年より障がい者雇用を受入はじめ、現在は10名の雇用や近郊の高等養護学校の職場実習受入企業として、障がい者雇用支援拡大に繋げている企業である。(西胆振心身障がい者職親会会員)	●		●				●	●							伊達市乾町201番地 292	0142-21-1788	355(社員 55)	
31	B	有限会社 笠井容器	古平町	各種魚類の木箱製造。古平地区職親会開設当初より障がい者雇用に取り組んでおり、様々な配慮にて雇用安定を図っている。(れい明の里職親会会員)		●						●							古平郡古平町大字入 船町26番地	0135-42-2340	9	
32	B	マルゼン食品 株式会社	苫小牧市	ホッキ貝や水産物加工製造販売。工場内に担当者を配置し、良好な対人関係を築き上げて永年の就労支援に貢献。(苫小牧心身障がい者職親会会員)		●						●							苫小牧市樽前6-13	0144-67-6662	30	
33	B	株式会社 西條	名寄市	道北地区にて展開している地域に根差している小売店。各関係機関とも連携を図りながら、その障がい者の方にあつた仕事の切り出しを行って職場定着を図っている企業。(なよろ地方職親会会員)			●				●	●							名寄市西3条南6丁目 25番地1	01654-3-5151	1100	
34	B	株式会社 ローヤル	伊達市	地元ホテルも厨房洗い場部門で、永年雇用維持がされている。(西胆振心身障がい者職親会会員)				●			●	●	●						伊達市末永町33-3	0143-23-4888		
35	B	株式会社 サン研ライ フサービス	岩見沢市	主にハウスクリーニング業務を行い、知的・聴覚障がい者を雇用。お得意先でトラブルがあつても、継続雇用につとめて関係機関と連携しながら、環境づくりの改善に努めている企業である。(岩見沢市知的障がい者職親会会員)			●				●								岩見沢市岡山町129- 26	0126-25-2629		
36	B	丸工 寺江食品株式会社	稚内市	重度障害者雇用事業所であり、学校給食主食製造や、お菓子パンの製造販売を行っている。永年地域と共に障がい者雇用尽力されている企業である。(稚内市職親会会員)			●				●		●						稚内市恵比須1丁目3 番10号	0162-23-3670	20	

ID	実施主体 (A~D)	会社名/団体名	所在地 (市町村)	事業概要	産業分野							障がい者の障がい種別				就労支援事業の形態				会社概要				
					農業	水産業	商工業	観光業	福祉	その他	身体	知的	精神	その他	A型	B型	移行	その他	住所	電話番号	従業員数			
37	B	医療法人社団三草会 クラーク病院	札幌市	2010年度独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構HPに取込み 事例の掲載企業。障がいに応じて能力を発揮できるような職場づくりを実施。 (最新情報は未入手)																		札幌市東区本町2条4 丁目8-20	011-782-6160	283
38	B	ニセコビレッジ株式会 社	ニセコ町	(H24年度の調査票より) 当時、知的障がい者1名が「調理補助」として の雇用、今後も雇用増員を検討(事務職)している回答いただく。																		虻田郡ニセコ町東山温 泉	0136-44-2211	
39	B	株式会社北海道丸和 ロジスティクス	石狩市	運輸物流業において、様々な種別の方の雇用実績のある企業で、H26 年度北海道労働局主催、障がい者雇用見学企業。																		石狩市新港南2-718 -2	0133-64-7981	
40	B	山田農場	江別市	平成24年度から江別市内に所在する就労継続支援B型事業所から、就 労訓練として受入。福祉施設の車の送迎によりほ場まで通勤し、草取り等 の手作業をメインに作業。作業内容は、福祉施設の指導員が指導対応。	●																		011-384-6030	
41	B	農業生産法人(株) 輝楽里	江別市	平成24年から、季節限定の業務委託契約に基づき施設外就労として 障がい者受入。 福祉施設の車の送迎によりほ場まで通勤し、除草、収穫、、選別、整 枝作業などに従事。作業内容は福祉施設の指導員が指導対応。	●																	江別市美原225	011-384-7146	
42	B	(有)ファーム花茶 (株式会社 KACHA)	千歳市	ファーム内に設置した、障がい者や高齢者が農作物に触れたり作業を 楽しむことが出来る施設、福祉の庭「ポロンコロン」にて、知的障害者が 畑の管理作業や直売所での野菜販売に従事。	●																	千歳市泉郷479	0123-29-2888	
43	C	株式会社アイザックス	足寄町	農業(きのご栽培他)。中国からの研修生等を受け入れしている。障がい 者雇用なし。H26年度の1月帯広開催「障がい者雇用に向けての意見交 換会」参加企業。	●																	足寄郡足寄町下愛冠1 丁目8-1	0156-25-3881	
44	C	株式会社 納 牧場	池田町	酪農業(搾乳牛・肉用牛の複合経営)。ワーキングホリデーを活用して海 外の従業員を積極的に雇い入れている。H26年度の1月帯広開催「障が い者雇用に向けての意見交換会」参加企業。	●																	中川郡池田町千代田 679番地9	015-572-5012	
45	C	農業生産法人有限会 社高橋畜産	せたな町	平成5年より障がい者雇用を開始し、最大6名雇用。健常者の同じ勤務 日数だと休みがちになる為、見守りながら農畜産業作業をおこなってい る(檜山北部職親会会員)	●																	久遠群せたな町北檜山 区松岡343	0137-84-6325	



ID	実施主体 (A~D)	会社名/団体名	所在地 (市町村)	事業概要	産業分野							障がい者の障がい種別				就労支援事業の形態				会社概要					
					農業	水産業	商工業	観光業	福祉	その他	身体	知的	精神	その他	A型	B型	移行	その他	住所	電話番号	従業員数				
46	C	農業生産法人株式会社 グレンディール	北見市	就労移行支援事業所(風楽里)の体験実習を3年以上継続して受入しており、サラダ用ホウレンソウを生産している。ハウスの床苗(種まき)や除草・包装作業。ハウスの増築補助等を行っている(北見職親会会員企業)	●									●		●							北見市春光町1丁目24番地3	0157-22-6778	
47	C	鐘ヶ江建設株式会社	北見市	50人未満の中小企業の中で障がい者雇用をされており、北見職親会の会長企業である。現場では責任指導係を一人おき、具体的指示のもとコミュニケーションをとり、建設現場資材の管理(サビ止め・フォークリフト操作担当者との資材運び等を行っている)			●							●									北見市北4条東7丁目1番地6	0157-24-2738	
48	D	一般社団法人釧路社会的企業創造協議会	釧路市	基幹産業の漁業を下支えする整網作業(高齢化が進み担い手不足)を中間的就労自立の場として活用している。		●																	釧路市北大通12丁目1-14	0154-25-0288	
49	D	有限会社 多田農園	上富良野町	農作業による癒しやセラピー効果に着目し、H19年から知的障害者を招待して農作業や加工体験の取組を始め、H24年からはほ場管理作業等の雇用の場を提供するソーシャルファームとしての活動へと発展させている。	●									●									上富良野町東9線北18号	0167-45-5935	
50	D	今金商工会	今金町	就業支援事業所は、あすなろなどの社会福祉法人が、知的障害者の就業支援のために、振興局社会福祉課(市村主査 事業指導)へ指定の申請を提出しています。その事業者台帳を調べて、就業支援の取り組み事例を聞き取りに行く。 (追伸:事例) 先進事例ではないですが、今金商工会が「光の里」の卒業生を商店街の空き店舗へ露天・お祭り事業への参加や商店への就職ができないか?通産省補助で調査事業を、昨年実施しています。			●							●									今金町今金142-39		

凡 例

<b>実施主体</b> A 障がい者就業支援に取り組む団体で、地場産業に関連する仕事をしている団体 B 障がい者雇用を行う民間企業 C 障がい者雇用に関心のある民間企業 D その他
<b>就労支援事業の形態</b> A型 就労継続支援A型 B型 就労継続支援B型 移行 就労移行支援 その他
<b>産業分野の例</b> 農業 農作業、選果場などの一次加工 水産業 一次加工 商工業 接客、品出し、加工品の製造 観光業 接客、飲食店や宿泊施設の清掃・洗濯等の管理作業 福祉 福祉施設内の清掃、配膳等 その他

## II 好事例調査実施実績

### (1) 調査方法

事例調査の対象は、「産業分野」及び「障がい者の障がい種別」を考慮した上で、北海道内での汎用性を踏まえて調査対象を選定した。

調査先では、経営主の方や支援員の方を対象にヒアリングを行った。

### (2) 調査対象

#### ▼道外事例

	訪問日	視察先	分野	概要
1	8月23日	障害者就労支援施設 イノー @沖縄県糸満市	観光	道の駅内に就労 A 型事業所（焼き肉レストラン）を設置し、道の駅の一施設として運営。 インバウンド観光客を積極的に受け入れ。
2	8月24日	障害者就労支援施設 Aile @沖縄県糸満市	伝統産業	沖縄の伝統工芸「銀細工アクセサリー」を作る技術を取り入れ、工賃向上を目指す。
3	8月24日	一般財団法人沖縄県 セルフセンター @沖縄県那覇市	その他 (中間支援)	県内の企業やクリエイターと福祉施設を連携させ、障がい者施設が製造する商品のレベルアップ、ブランド化に取り組む。
4	9月8日	滋賀県健康医療福祉 部障害福祉課 @滋賀県大津市	福祉	知的障がい者を対象とした介護人材育成事業に取り組む。
5	9月8日	なごみ苑京都 @京都府京都市	伝統産業	京都の伝統産業を活かした障がい者就労支援（就労移行）に取り組む。
6	9月9日	一般社団法人吹田市 障がい者の働く場事 業団 (福祉コンビニ「ロー ソン吹田市役所店」) @大阪府吹田市	商工業	吹田市役所内にあるローソンで障がい者を雇用。また、市内授産施設の商品を取り扱う。
7	9月10日	多機能型リフレかや の里 @京都府与謝野町	観光・ 6次化	3セクが運営していた保養施設（温泉・宿泊・レストラン）をその事業者が破たんしたのち、社会福祉法人が運営。

▼道内事例

	訪問予定 時期	視察先	分野	概要
8	12月1日	夢ふうせんマイム @佐呂間町	福祉	高齢者施設において利用者のケアや施設清掃等の仕事を障がい者が担っている。知的障がい者の他、精神障がい者の割合が高い。就業環境を配慮したり、本人の精神状態などのケアを行っている。
9	12月9日	株式会社丸イ佐藤海産 @別海町	水産	帆立等の水産加工を行っており、身体・聴覚・知的障がい者7名を雇用している。工場では高齢者や多国籍の方等、全員が戦力として働かれており、皆が共通認識できるようにポスター表示や、様々な工夫を行っている企業である。
10	12月11日	社会福祉法人古平福祉会れい明の里 @古平町	福祉・ 廃校利用	地域での企業経営破たん等、経済が乏しい中、旧古平高校を活用した高齢者複合施設「ほほえみくらす」内において、売店・食堂（ホール・厨房）等において就労の場を設け、B型施設の日中活動出張所として3か所をローテーションでまわして働いている
11	12月15日	株式会社ヨシダ @苫小牧市	林業	地元産の木材を中心に製材加工を行っている。知的障がい者を雇用し、わかりやすい適切な指示で10年以上の就労継続に繋げている。

### Ⅲ 地域産業の発展に向けた障がい者雇用セミナーの開催実績

#### (1) PR 方法及び対象

障がい者就労に関心のある地元企業と、地場産業と連携することによる障がい者の職域開拓に関心のある福祉事業者に対して、地場産業を主とした障がい者就労に関するセミナーを実施した。

#### (2) セミナー開催場所及び回数、出席者数

研修は、今金町、札幌市、北見市の3ヵ所で実施した。それぞれの概要は以下の通りである。

開催地域	今金町	札幌市	北見市
研修名	今金町における商工業・農業関係者による障がい者雇用に関する勉強会	地域産業の発展に向けた障がい者雇用セミナー	注目が集まる『農福連携』農業と障がい者就労の取り組みと可能性をお伝えします
開催日時	平成28年2月4日(木) 18:00~20:30	平成28年2月5日(金) 13:30~16:30	平成28年2月24日(水) 13:30~16:30
参加者数	26名	37名	23名
プログラム	1 開会・挨拶 2 今金町商工会の取組紹介 3 意見交換：障がい者雇用に向けた課題 4 全体での発表、意見交換 5 実習調査活動結果とマニュアル作成について 6 障がい者雇用を活用できる制度等の紹介 7 閉会	1 開会・挨拶 2 先進的な取り組み事例の紹介 3 道内外の障がい者雇用に関する取り組み及び活用できる制度の紹介 4 意見交換 5 閉会 6 自由交流(会場開放)	1 開会 2 名寄市智恵文地区における「農福連携」の実践 3 農業現場での就労事例の紹介及び北海道の障がい者就労支援施策の紹介 4 意見交換 5 閉会 6 自由交流(会場開放)



今金町



札幌市



北見市

### (3) 実施内容

#### ①「今金町における商工業・農業関係者による障がい者雇用に関する勉強会」開催報告

##### 障がい者雇用実習活動の様子紹介

今金町商工会 事務局長 小林 洋 伸 氏  
株式会社 TAISHI ディレクター 金 沢 英 明 氏

#### 1) 今金町における障がい者雇用の取り組みの経緯

今金町では、人口減少が進む中で地域の活力を維持するために、地域が抱える課題の洗い出しと解決の方向性を検討した。その一つとして「養護学校の生徒が仕事をもちながら、今金町に定住する」ことに取り組むこととし、企業・福祉・農業が連携して雇用のあり方を考え直す、新たなビジネススタイルを構築していきたいと考えた。

昨年度、実際に生徒や保護者は今金定住の希望を持っているのか、農家など受入側にニーズや可能性はあるのか等について調査をした結果、いくつかの条件はあるが、可能性が高いということが分かった。

今年度は、実際に養護学校の生徒が農家で働くということに対し、お互いの不安や心配を解消するために何が必要なのかを検討するため、実際の農家での就労実習を中心に障がい者雇用に向けたマニュアル作りを目指した取り組みを進めている。また、このことをきっかけに、地域全体に障がい者福祉の考え方を浸透させることを併せて進めている。

#### 2) 就労実習の様子（映像紹介）

養護学校の生徒たちは、町内 12 の事業所・28 名に実習してもらっている。農家の皆さんには快く受け入れていただいた。

農家での実習を中心に、映像（ビデオ）を観ていただきながら解説したい。

##### 【にんじんの選別作業】

- ・ここでは、生徒一人が実習している。
- ・2時間ぐらいの作業の中で、出荷せずに取り除かなければならないにんじんを見分けられるようになっている。

##### 【アスパラの収穫作業】

- ・本人が作業を行う前に、農家の方から説明を受けている。
- ・最初のうちは、アスパラを切るのもぎこちない感じではあるが、だんだんと慣れてきている様子がわかる。

##### 【トマトのハウス内での作業】

- ・トマトを選別して切り取った枝が床に落ちているのを、片付ける作業を行っている。
- ・不要な枝を切る作業を行っている。どの枝が不要なのかは、なかなか見分けづらいが、きちんと見つけ出してカットしている。

#### 【ネギ植え作業】

- ・ネギを土に植える際の深さを均一にしなければならない。
- ・ネギを土に指す深さのコツをつかむのが難しいが、器具にテープを巻くことでスムーズに作業ができるようになった。

#### 【大根の収穫作業】

- ・最初はぎこちない作業だったが、後半にはとても効率よく作業ができるようになっている。
- ・他の実習先でも同様だが、受け入れ先農家の方々は生徒たちの作業をほめながら上手に指導してくれている。

いろいろな実習先で、作業についての説明を受ける前と後では作業がどう変化するか、どの部分をどのように改善したらうまくいくようになったかについて、映像でも整理した。



## ②「地域産業の発展に向けた障がい者雇用セミナー（札幌）」開催報告

### 先進的な取り組み事例の紹介

講師：だて地域生活支援センター 相談・就業支援所長 鹿野内 賢士 氏

伊達市は、日本の中でも先駆的な「福祉のまち」として全国に知られていた時代がある。昭和43年に、大型の障がい者入所施設「太陽の園」が設置されたことがきっかけとなり、地域における障がい者就労の取り組みがスタートした。こうした背景の中培われた、地域の産業における障がい者の就労の現場について紹介したい。

#### 1) 障がい者の就労の状況

伊達市は、人口約35,000人の噴火湾に面したまちであり、水産業・農業・観光業・福祉などの産業が盛んである。市内には500名を超える障がい者が暮らしており、そのうち一般企業で就労しているのは200名ほどである。

先に紹介した「太陽の園」は、かつて施設内で「自給自足」ができるほど畑作、米作り、養豚や養鶏、酪農などを行い、また、障がい者の作業・訓練として木工業・窯業・金工業などにも取り組むなど、障がい者は「施設内」で仕事をしていた。そうした作業・訓練等の指導員や職員の多くを地元から採用した。

障がい者が「施設の外で働きたい」と言ったときに、指導員や職員の手ついで地域に仕事を見つけることができ、だんだんと障がい者の地域就労が増えていき、現在につながっている。

#### 2) さまざま職種と業務事例

##### 【中井英策商店（水産食品加工）】

- ・「キンキのいずし」で有名な会社。
- ・知的障がい者の方が1名雇用されており、材料等の運搬・移動、下処理の助手、容器・機会の洗浄、作業場の清掃・片づけ、その他雑用などに従事するが、主な業務は清掃。
- ・「いずし」の箱詰め作業などは衛生面に厳しい配慮が必要であるため、専門の職員が行っている。
- ・年に1回、「いずし」の箱詰め作業が始まるとテレビ取材が入るのが恒例で、障がい者の方にとって、そのことも業務継続の励みになっている。

##### 【わかさいも本舗】

- ・働いているのは知的障がい・身体障がいの方々。身体障がいでも車いすを利用しているなどの方でも、移動が必要ない作業などがたくさんある。
- ・主な仕事は、串刺し、箱詰め、箱折、社内の清掃、その他雑用など。

- ・箱折作業については、近隣のまちの就労支援事業所が「施設外就労」としても実施している。

#### 【大滝きのこ王国】

- ・働いているのは主に知的障がいの方で、菌床移動・運搬、菌床掻き出し・ポット洗浄、きのこ収穫、その他雑用など。
- ・「きのこ王国」は冬季営業を休んでいるが、きのこ栽培（ハウス・工場）は営業している。
- ・きのこの栽培は、毎日きまったことを繰り返し行うので、障がい者の方も任された仕事をこなしている。

#### 【山水ホテル】

- ・洞爺湖温泉にある小規模なホテル。知的障がい、精神障がいの方が働いており、食器洗い、風呂場・洗面台洗浄、客室清掃、フロント業務などに携わる。
- ・ここは大型ホテルと違って制服はなく、働く方々が普段着のまま仕事をするため緊張感が和らぐという配慮がある。家庭的な雰囲気になじみやすい方に向いている。
- ・清掃担当がお休みしてしまったら、厨房の担当が代わりに清掃に入るなど、全員で協力している。

#### 【小川商店】

- ・主にウニの加工を行っている会社。知的障がいの方が働き、ウニの殻割・身取り、原料の運搬・移動、カゴ等作業容器の洗浄、作業場清掃などを行っている。
- ・原料の入ったカゴや、ウニの身を取り出したカゴなどはすぐにいっぱいになり、それを適切な場所に運んだり、新たなカゴを置くのはとても重要な裏方仕事。

以上、地域の中で特色のある事業所の事例を紹介した。大手企業・中小企業などさまざまであるが、特性を生かした仕事の内容となっている。

### 3) 業務の細分化

障がい者は抽象的な内容を理解するのが難しく、事業所側からの業務指示の仕方によっては、働きたい意欲があってもうまくいかず、結局「仕事ができない人」と評価されて就労継続が難しくなることがある。そのため、事業者側には「仕事の細分化」をお願いしている。

例えばホテルで仕事をする場合「フロント業務」「接待業務」「レストラン業務」などがある。「フロント業務」をさらに細分化すると「接客」「PC操作」「玄関前お出迎え」「お部屋お届け」「電話対応」「管内案内」「車両管理」「ナイトフロント」などに細かく分けることができ、さらにこの中で障がい者の方ができる仕事は何かを検証していく。

細分化した上で、それぞれの業務にかかる時間を示してもらうことで、「得意な仕事を3時間と、苦手な仕事を2時間がんばる」などの組み合わせ・選択が可能になる。



#### 4) 継続した就労のために

支援者側として、障がい者の就労定着に向けて定期的なフォローをする必要がある。仕事を続けるモチベーションを高めるために、さまざまな取り組みを行う組織として「職親会」がある。

「職親会」は道内に18カ所の団体がある。北海道以外では青森県八戸市のみで活動があり、北海道独自の取り組みと言ってよい。障がい者就労に取り組み事業主による組織であり、障がい者の就労・就労継続、企業同士の情報交換などを行う。

就労継続に向けた「職親会」の取り組みとしては、次のようなものがある。

##### 【レクリエーション】

- ・パークゴルフ大会や「働く仲間の集い」など。「集い」では「働くことは何か」などの勉強会をしていたこともあったが、一緒にドラム演奏を楽しんだり、困ったことを相談し合える場にして、就労意欲の維持・向上を目指している。

##### 【永年勤続表彰】

- ・5年単位で勤続表彰を行っている。「たかが賞状、されど賞状」で、賞状1枚が働く障がい者の方の大きな励みになっている。

##### 【企業間の情報・親睦の交流】

- ・企業側への福祉関係情報の発信や、企業側が障がい者就労に関して感じている課題などについて話を伺っている。

障がい者就労に関して、「就労継続支援」はこれからますます重要になってくる。「職親会」のような取り組みは重要かつ効果があるが、札幌には組織がない。北海道内で最も企業が多い札幌にも「職親会」が組織されることを望む。



### ③「地域産業の発展に向けた障がい者雇用セミナー（北見）」開催報告

#### 先進的な取り組み事例の紹介

講師：株式会社 Giggles 代表取締役 武士 博之 氏

名寄市の基幹産業は農業である。「農福連携」というと大きなテーマのようだが、障がい者が農作業を仕事として、当たり前にお給料をもらえる仕組みづくりについてお話ししたい。

#### 1) 自己紹介と事業所紹介

私は平成 5 年から 15 年間、名寄市の農協職員を務めてきた。平成 20 年に退職し、1 年ほど小売業で務めていたが、「施設として畑を借りて農業に取り組みたい」という福祉事業所から声をかけていただいたことをきっかけに、福祉の分野で仕事をするようになった。

その時の事業所では、障がい者の能力の高低に関わらず一つの事業所の中で同じ仕事をしてきた。能力の高い障がい者の中には、一般の会社でも仕事ができるレベルの方もいたので、そうした障がい者を対象とした事業所を展開したいと考えて独立に至った

「就労継続支援 A 型」の「Freiheit (フライハイト)」、「就労移行支援」の「Liberta (リベルタ)」の 2 つの事業所を運営している。「Freiheit (フライハイト)」では、お弁当の宅配、農作業請負、農産加工、清掃受託作業などを行い、「Liberta (リベルタ)」では、一般就労に向けて必要となるソーシャルスキルやコミュニケーションスキル、一般常識の習得などの専門プログラムを実施している。

#### 2) 就労系事業所の特徴

障がい福祉サービスのうち、利用者が一般就労を目指す就労系事業所は、「就労移行支援」「就労継続支援 A 型」「就労継続支援 B 型」の 3 つのタイプに分けられる。この中で「就労継続支援 A 型」は雇用契約に基づいて就労活動を行うため、最低賃金を守り、一般企業で仕事をするのに近い形での就労となる。「B 型」は雇用契約を結ばないので労働条件があいまいであり、労働の対価は事業所の収入額に応じて「工賃」として支払われる。名寄市では、300 円/時間程度の支払いが多くなっている。

「A 型」であっても、障がい者の能力が十分でないと判断される場合、労働基準監督署に届け出ることによって 3 割まで最低賃金から減額することが認められている。私の事業所で働く 15 人の障がい者のうち、知的障がいの 2 名は減額している。

「就労移行支援」は、「就労継続支援」事業所とはことなり、どちらかというところ「学校」のようなところ。仕事と言うより、障がい者本人の能力を評価するために作業をしてもらっている。作業能力が高く、今すぐにもハローワークで求職活動ができる方が利用する

ケースが多い。

### 3) 当事業所の農作業請負の流れ

名寄市智恵文地区は、名寄市の中心部から車で30分程度かかる。高齢化や人口減少の影響で、近隣住民同士の農作業の手伝いが機能しづらくなり、十数年前から中国人研修生の受け入れを進めることで人員不足を補ってきた。ピーク時には100名近くの実習生が入っていた。しかし、受け入れ側の費用負担がだんだん重くなり、現在はパートを雇うよりも高い賃金でなければ研修に来てもらえない状況になってきている。

事業所を開設した平成23年に3戸の農業者の請負からスタートしたが、年々戸数を増やし平成26年には11戸になった。しかし、請負を希望する農家に対し、事業所を利用する障がい者の数が十分ではなく、平成27年には請負農家戸数が9戸となった。現時点で、農作業に従事している障がい者は11名である。

智恵文地区で我々の事業所が請け負っている農作業は、3月のビート播種から始まり5月にはアスパラ収穫・馬鈴薯植付などを行い、6～7月は草取りなどの管理作業を行う。7月頃からニンニクの収穫作業を行うが、このニンニクは生薬用であり、一つひとつ手で収穫して根切りも丁寧に行っている。その後、農繁期の8月～9月頃までは、南瓜や馬鈴薯の収穫作業などに従事する。

農作業を請け負った場合、作業の初日は、必ず支援者が一緒に作業に入るようにしている。最初は本人に直接指示をするのではなく、支援者が農家から指示を聞いて本人に伝える。障がい者は1～2日で人にも慣れて作業ができるようになるので、複雑な作業が発生しなければ、支援者が間に入らなくても大丈夫になる。作業時間は基本9～17時で、障がい者の体力に応じて、9-12時、13-17時、9-17時、9-15時の作業時間を設定している。送迎はすべて事業所で行っているため、作業の開始・終了時間が異なる利用者の送迎には、結構手間がかかる。

農作業中はトラクターなどの音がうるさいために、大声で指示を出される農家さんもいるが、そうした命令形のような指示に「反応」してしまう障がい者がいる。そうした誤解をなくように支援者側が指示の出し方などについて農家をお願いするようにしている。

長文の指示は覚えきれない障がい者が多いので、短く区切って話をしたり、結論を先に言ってもらうなど、短めの指示をお願いしている。また、作業の完成形については、具体的な「見本」を見せてもらうとわかりやすい。

支援者が必ず一人、智恵文地区を巡回するようしており、緊急時には必要に応じて対応できる体制をとっている。

作業料金は、作物ごとに10aあたりの単価を設定している。障がい者の作業能力によって効率的にできることもあれば、収支が見合わない場合もある。そうした可能性については、事前に農家側にきちんと説明しておくことが重要である。

### 4) 各種制度・各種援助制度

就労移行支援事業所として、一般企業に障がい者の就労に関してお願い・訪問する場合、障がい者雇用に関わる各種制度について紹介している。

障がい者雇用率など、企業として義務が発生する制度のほか、「トライアル雇用奨励金」「特定就職困難者雇用開発助成金」など、障がい者等を雇用する場合に助成を受けられる制度などを紹介している。助成を受けるにはさまざまな要件をクリアしなければならないが、知らなければ利用できないないし、利用しないのはもったいない。

名寄市の農業者の方の中には、時給 1,300～1,400 円を支払って人材派遣を利用されている農家も多い。我々としては、障がい者であってもきちんと仕事ができ、支援者も入り、最低賃金で請け負うことができることを農家の皆さんに認めてもらうことができ、ここまで広げることができたのだと考えている。今、請負している農家とは今後ともおつきあいでいきたいが、新たに請負を希望する農家に対し、我々の事業所だけでは対応しきれない状況となっている。名寄市の農業における障がい者の仕事の場づくりについて、自立支援協議会や就労支援部会などでも議論していきたい。



#### 【質問者 1】

現在、農作業に従事されている障がい者の方が 11 名いるとのことだが、身体・知的・精神の内訳を教えてください。

#### 【回答】

知的障がいと精神障がいが半々。毎日きちんと通って長く作業ができるのは知的障がいの方が多く、精神障がいの方は作業能力が高い。ただ、精神障がいの方は一度落ち込んでしまうと 1 週間作業を休んでしまうことなどもあるので、誰がどの作業に従事するのかの調整が重要となる。

#### 【質問者 2】

障がい者が農家に仕事に行く場合、施設外就労として賃金が発生しているのか。職員は同行支援しているのか。

**【回答】**

施設外就労ではない。農家は「一般企業」であり、そこで障がい者が就労して支援者がフォローを行うというかたち。

**【質問者3】**

農作業は、どうしても夏場の一時期の仕事になってしまう。それ以外の時期には、利用者はどのような仕事をしているのか。どのように仕事を確保しているのか。

**【回答】**

通年で請け負っている軽作業等があり、農繁期でも雨の日などはそうした作業に従事する。納期があまりきつくない仕事である。

#### (4) 実施による効果

セミナーでは、それぞれの会場で参加者アンケートを実施し、①今金町では出席者 26 名中 22 名（回収率 84.6%）、②札幌市では出席者 37 名中 30 名（回収率 81.1%）、③北見市では出席者 37 名中 18 名（回収率 78.3%）より回答があった。

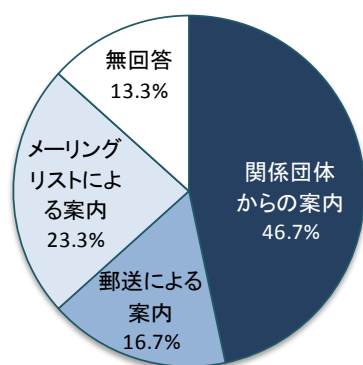
	①今金町	②札幌市	③北見市
出席者数	26 名	37 名	37 名
回答数	22 名	30 名	18 名
回収率	84.6%	81.1%	78.3%

##### 1) セミナーの周知方法

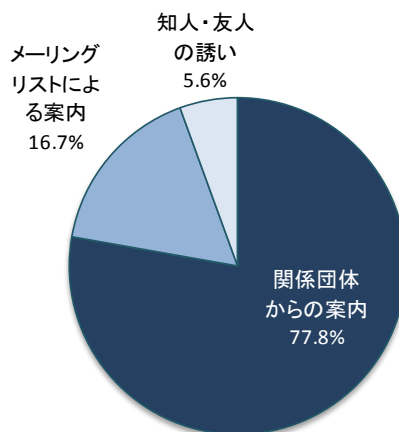
このセミナーを何で知ったかについては、札幌セミナーでは「関係団体からの案内」が 46.7%（14 件）、「メーリングリストによる案内」が 23.3%（7 件）、「郵送による案内」が 16.7%（5 件）となっている。北見セミナーでは、「関係団体からの案内」が 77.8%（14 人）と最も高く、次いで「メーリングリストによる案内」が 16.7%（3 人）となっている。

図表 1 セミナーの周知方法

札幌セミナー（N=30）



北見セミナー（N=18）



	件数	割合
関係団体からの案内	14	46.7%
郵送による案内	5	16.7%
メーリングリストによる案内	7	23.3%
知人・友人の誘い	0	0.0%
無回答	4	13.3%
合計	30	100.0%

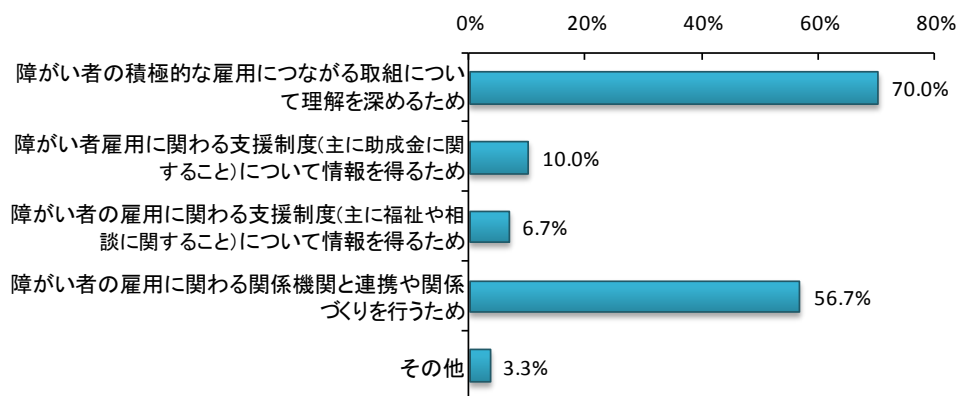
	件数	割合
関係団体からの案内	14	77.8%
郵送による案内	0	0.0%
メーリングリストによる案内	3	16.7%
知人・友人の誘い	1	5.6%
無回答	0	0.0%
合計	18	100.0%

## 2) セミナーに参加した理由

このセミナーに参加した主な理由については、札幌セミナーでは「障がい者の積極的な雇用につながる取組みについて理解を深めるため」が70.0%（21件）と最も高くなっており、次いで「障がい者の雇用に関わる関係機関と連携や関係づくりを行うため」が56.7%（17件）、「障がい者雇用に関わる支援制度（主に助成金に関すること）について情報を得るため」が10.0%（3件）となっている。

北見セミナーでは、「障がい者の積極的な雇用につながる取組みについて理解を深めるため」が66.7%（12人）と最も高く、次いで「障害者の雇用に関わる関係機関と連携や関係づくりを行うため」が27.8%（5人）となっている。

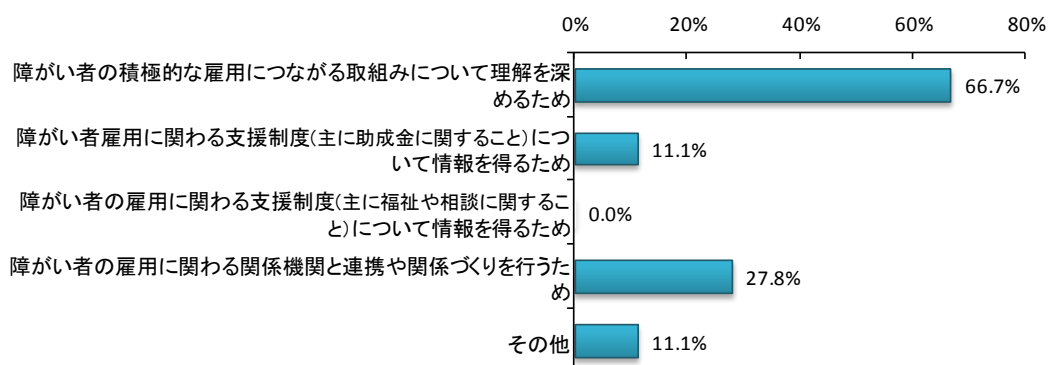
図表2 セミナーに参加した理由  
札幌セミナー（N=30、複数回答）



(複数回答)

	件数	割合
障がい者の積極的な雇用につながる取組みについて理解を深めるため	21	70.0%
障がい者雇用に関わる支援制度(主に助成金に関すること)について情報を得るため	3	10.0%
障がい者の雇用に関わる支援制度(主に福祉や相談に関すること)について情報を得るため	2	6.7%
障がい者の雇用に関わる関係機関と連携や関係づくりを行うため	17	56.7%
その他	1	3.3%
全体	30	

北見セミナー（N=18、複数回答）



(複数回答)

	件数	割合
障がい者の積極的な雇用につながる取組みについて理解を深めるため	12	66.7%
障がい者雇用に関わる支援制度(主に助成金に関すること)について情報を得るため	2	11.1%
障がい者の雇用に関わる支援制度(主に福祉や相談に関すること)について情報を得るため	0	0.0%
障がい者の雇用に関わる関係機関と連携や関係づくりを行うため	5	27.8%
その他	2	11.1%
全体	18	

また、「その他」の記載内容については、下記のものであった。

- ・農家さんの話が聞いてみたかった。
- ・グリーンツーリズムを行うための知識が欲しかった。

3) プログラム内容について

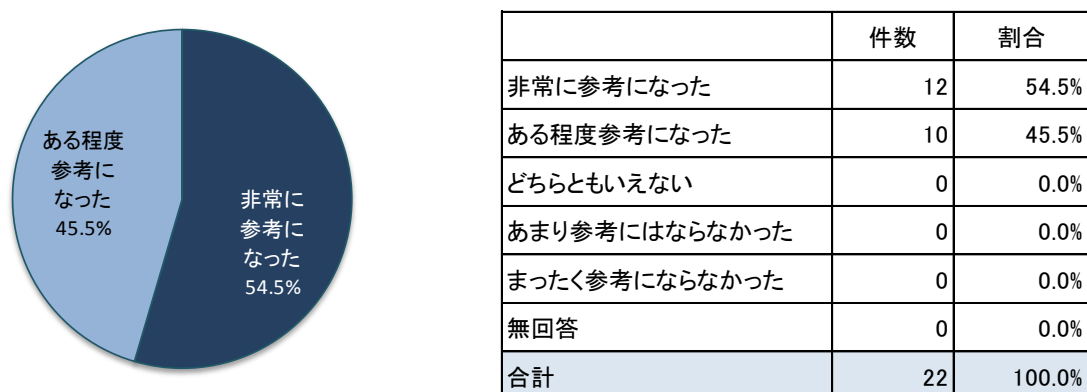
セミナーのプログラム内容について、それぞれ参考となったかをたずねた。

①今金セミナー

「非常に参考になった」が 54.5% (12 件)、「ある程度参考になった」が 45.5% (10 件) となっている。

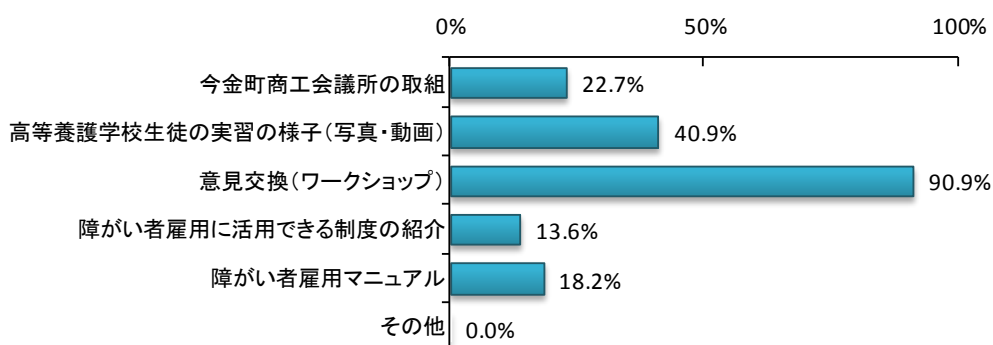


図表3 勉強会について (N=22)



具体的に参考になった部分について、前問で「非常に参考になった」「ある程度参考になった」と回答した人を対象にたずねたところ、「意見交換(ワークショップ)」が90.9% (20件)と最も高く、次いで「高等養護学校生徒の実習の様子(写真・動画)」が40.9% (9件)、「今金町商工会議所の取組」が22.7% (5件)となっている。

図表4 具体的に参考になった部分 (N=22、複数回答)



(複数回答)

	件数	割合
今金町商工会議所の取組	5	22.7%
高等養護学校生徒の実習の様子(写真・動画)	9	40.9%
意見交換(ワークショップ)	20	90.9%
障がい者雇用に活用できる制度の紹介	3	13.6%
障がい者雇用マニュアル	4	18.2%
その他	0	0.0%
全体	22	

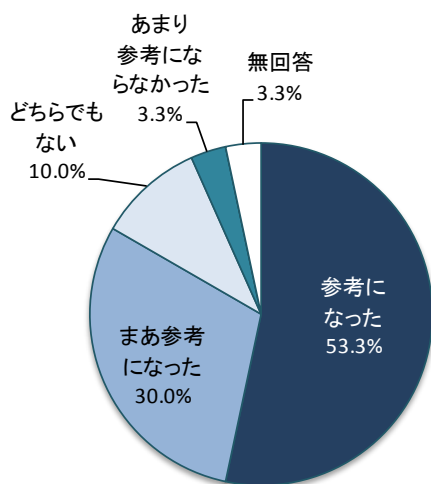
②札幌セミナー

a. 講演「先進的な取り組み事例の紹介」(だて地域生活支援センターの取り組み)

「参考になった」が 53.3% (16 件) と最も高く、次いで「まあ参考になった」が 30.0% (9 件)、「どちらでもない」が 10.0% (3 件) となっている。

図表 5 講演「先進的な取り組み事例の紹介」(伊達地域生活支援センターの取り組み)

(N=30)



	件数	割合
参考になった	16	53.3%
まあ参考になった	9	30.0%
どちらでもない	3	10.0%
あまり参考にならなかった	1	3.3%
参考にならなかった	0	0.0%
無回答	1	3.3%
合計	30	100.0%

また、参考になった点などについて具体的に記載してもらった内容については、下記のようなであった。

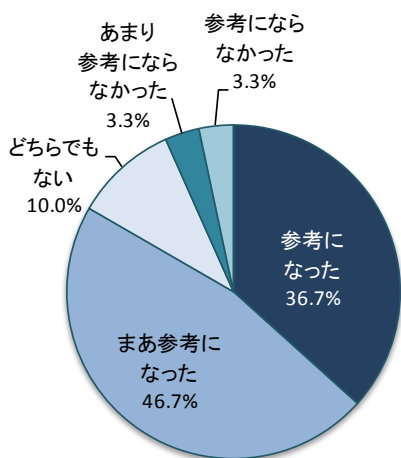
項目	内容
参考になった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労に対する討論の機会が非常に少なく、話し合うことの大切さの再認識ができた。</li> <li>・支援者の目線も変化していること。働き続けるための生活支援の重要性。</li> <li>・伊達の地域性や福祉の歴史から築き上げられた就労支援の取組みが参考になった。</li> <li>・様々な産業で働いている様子が、かい間見れて良かった。</li> <li>・だて地域はいつも良い取組を行って、結果を出している。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
まあ参考になった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展開の一つとして参考になった。</li> <li>・障がい者雇用にかかる現状のスキームが見えたため参考になった。但し、単純作業が多い気がした。もっと障がい者には可能性があると考える。</li> <li>・現状の課題はあまりかわっていないこと、人材の育成は急務と感じた。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

あまり参考にならなかった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者雇用をしている様子を紹介する程度で、就労支援の内容や企業側のサポート体制や工夫、生活面の配慮等の面で乏しかった。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
--------------	--

b. 「道内外の障がい者雇用に関する取り組み及び活用できる制度の紹介」

「まあ参考になった」が46.7%（14件）と最も高く、次いで「参考になった」が36.7%（11件）、「どちらでもない」が10.0%（3件）となっている。

図表6 「道内外の障がい者雇用に関する取り組み及び活用できる制度の紹介」（N=30）



	件数	割合
参考になった	11	36.7%
まあ参考になった	14	46.7%
どちらでもない	3	10.0%
あまり参考にならなかった	1	3.3%
参考にならなかった	1	3.3%
無回答	0	0.0%
合計	30	100.0%

また、参考になった点などについて具体的に記載してもらった内容については、下記のようなであった。

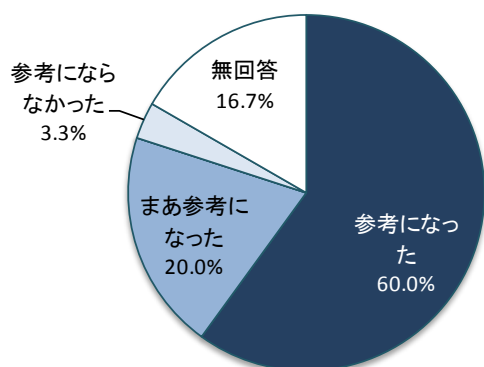
項目	内容
参考になった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅に事業所</li> <li>・道内外の取り組みの工夫とローソンや伝統産業との係わりが興味深かった。</li> <li>・介護への就労の切り分けが良い（仕事の切分け）</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
まあ参考になった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度はたくさんあるが私達は起業開拓時に話すことはできませんし、また年度毎に変わるものも多く覚えきれない。誰が（どこが）積極的に利用をすすめてくれるのか疑問。</li> <li>・道内の取組みを知る機会はあるが、道外のものはないので勉強になった。</li> <li>・その地域における色を出していくなど参考になった。</li> <li>・能力の細分化という視点が重要であることがわかった。これに対応する制度案件が必要だと思った。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

あまり参考にならなかった	<ul style="list-style-type: none"> <li>もう少し内容を詳しく知りたかった。</li> <li>30年ほど前の受産施設の内容を聞かされても何の意味もない。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
参考にならなかった	<ul style="list-style-type: none"> <li>活用している制度についてあまり紹介がなかった。</li> </ul>

c. 「意見交換会」(グループワーク)

「参考になった」が60.0% (18件) と最も高く、次いで「まあ参考になった」が20.0% (6件) となっている。

図表7 「意見交換会」(グループワーク) (N=30)



	件数	割合
参考になった	18	60.0%
まあ参考になった	6	20.0%
どちらでもない	0	0.0%
あまり参考にならなかった	0	0.0%
参考にならなかった	1	3.3%
無回答	5	16.7%
合計	30	100.0%

また、参考になった点などについて具体的に記載してもらった内容については、下記のようなであった。

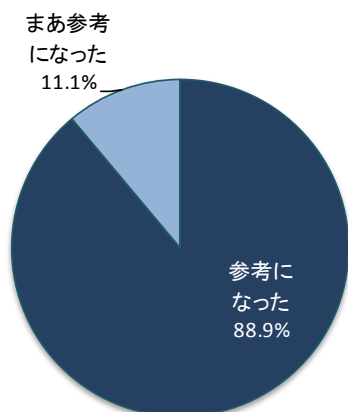
項目	内容
参考になった	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業からのと福祉の側からの問題点や課題を通して、それぞれの意見の交流の場になった良い機会であった。</li> <li>課題はあったが意識改革になった。</li> <li>他職種の考え、思いなど生の声がきけたことが何よりの収穫だった。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
まあ参考になった	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の業種の方の話は、違った視点で障がい者雇用を知る機会となり参考となった。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

③北見セミナー

a. 講演「名寄市智恵文地区における「農福連携」の実践」

「参考になった」が 88.9% (16 人)、「まあ参考になった」が 11.1% (2 人) となっている。

図表 8 講演「名寄市智恵文地区における「農福連携」の実践 (N=18)



	件数	割合
参考になった	16	88.9%
まあ参考になった	2	11.1%
どちらでもない	0	0.0%
あまり参考にならなかった	0	0.0%
参考にならなかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	18	100.0%

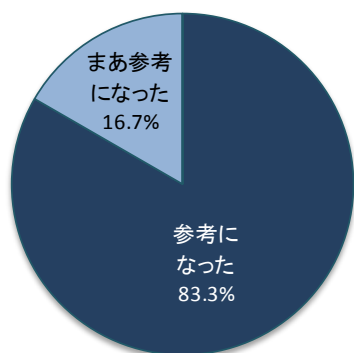
また、参考になった点などについて具体的に記載してもらった内容については、下記のようなであった。

項目	内容
参考になった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当事業所も農家作業をしてみたいと思った。</li> <li>・障がい者が農家で働いているということを知り、勉強になった。</li> <li>・自社農園の経営ではなく、派遣という考え方。</li> <li>・地域の理解を得て、広く推進されている点。</li> <li>・実践の重要性、一歩を踏み出す大切さを教えてもらい、実践の中で障がい者が生き生きと暮らせる社会は実現可能と感じ、良い機会だった。</li> <li>・距離があるのに送迎など対応している点。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

b. 「農業現場での就労事例の紹介及び北海道の障がい者就労支援施設の紹介」

「参考になった」が 83.3% (15 件) で最も高く、次いで「まあ参考になった」が 16.7% (3 件) となっている。

図表 9 「農業現場での就労事例の紹介及び北海道の障がい者就労支援施設の紹介」  
(N=18)



	件数	割合
参考になった	15	83.3%
まあ参考になった	3	16.7%
どちらでもない	0	0.0%
あまり参考にならなかった	0	0.0%
参考にならなかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	18	100.0%

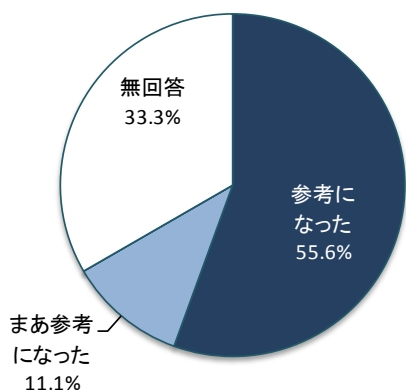
また、参考になった点などについて具体的に記載してもらった内容については、下記のようなであった。

項目	内容
参考になった	<ul style="list-style-type: none"> <li>各事例からのメリット等の整理</li> <li>農業側、福祉側双方のメリット・デメリットなど参考になった。</li> <li>取組みや、実際の現場でのことについて伺えたので良かったです。</li> <li>課題やメリット等が整理されていたので、今後参考にしたい。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
まあ参考になった	<ul style="list-style-type: none"> <li>仙台を除き、知っている事例だった。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

c. 「意見交換会」(グループワーク)

「参考になった」が 55.6% (10 件) と最も高く、次いで「まあ参考になった」が 11.1% (2 件) となっている。

図表 10 「意見交換会」(グループワーク) (N=18)



	件数	割合
参考になった	10	55.6%
まあ参考になった	2	11.1%
どちらでもない	0	0.0%
あまり参考にならなかった	0	0.0%
参考にならなかった	0	0.0%
無回答	6	33.3%
合計	18	100.0%

また、参考になった点などについて具体的に記載してもらった内容については、下記のようなであった。

項目	内容
参考になった	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉の方の意見を聞くことができた。</li> <li>施設以外の方の障がい者に対する考えが聞けて良かった。</li> <li>福祉側はもちろんだが、意外にも農業生産側も悩んでいたこと。</li> <li>異なる側からの意見が聞けたため、まずは互いの不安などを出し合うことで、すり合せがやっとならざるを得るのだと思う。</li> <li>農業現場の方と話しをする機会等がなかなかなかったので、期待・不安などがあることも聞けてよかった。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

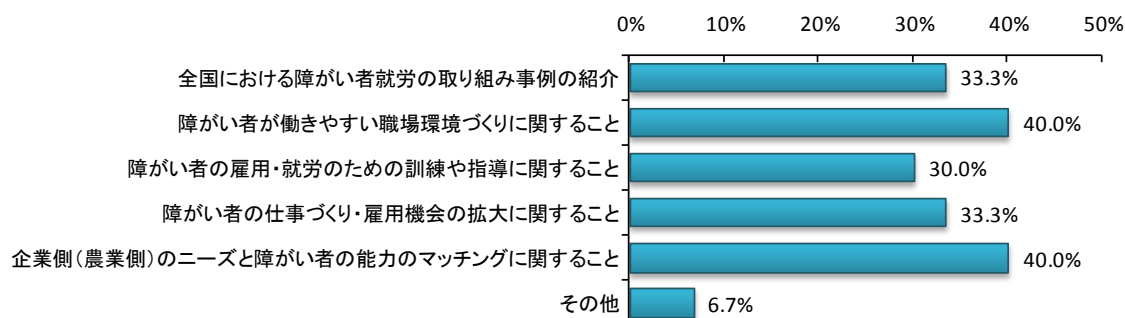
#### 4) 今後あるとよいと思う研修会

今後、どのような内容の研修会があるとよいと思うかについては、札幌セミナーでは「障がい者が働きやすい職場環境づくりに関すること」「企業側（農業側）のニーズと障がい者の能力マッチングに関すること」がいずれも40.0%（12件）と最も高く、次いで「全国における障がい者就労の取り組み事例の紹介」「障がい者の仕事づくり・雇用機会の拡大に関すること」がいずれも33.3%（10件）となっている。

北見セミナーでは、「企業側（農業側）のニーズと障がい者の能力のマッチングに関すること」が38.9%（7件）と最も高く、次いで「障がい者の仕事づくり・雇用機会の拡大に関すること」が22.2%（4件）、「全国における障がい者就労（農福連携）の取り組み事例の紹介」「障がい者が働きやすい職場環境づくりに関すること」がいずれも16.7%（3件）となっている。

図表 11 今後あるとよいと思う研修会

札幌セミナー（N=30、複数回答）



複数回答

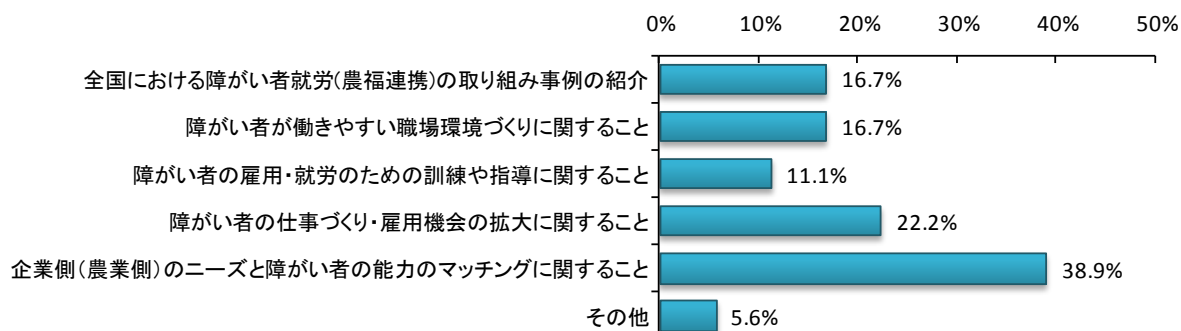
	件数	割合
全国における障がい者就労の取り組み事例の紹介	10	33.3%
障がい者が働きやすい職場環境づくりに関すること	12	40.0%
障がい者の雇用・就労のための訓練や指導に関すること	9	30.0%
障がい者の仕事づくり・雇用機会の拡大に関すること	10	33.3%
企業側（農業側）のニーズと障がい者の能力のマッチングに関すること	12	40.0%
その他	2	6.7%
全体	30	

また、「その他」の記載内容については、下記のものであった。

- ・情報・意見交換の場。
- ・職業訓練について知りたい。



北見セミナー（N=18）



複数回答

	件数	割合
全国における障がい者就労(農福連携)の取り組み事例の紹介	3	16.7%
障がい者が働きやすい職場環境づくりに関すること	3	16.7%
障がい者の雇用・就労のための訓練や指導に関すること	2	11.1%
障がい者の仕事づくり・雇用機会の拡大に関すること	4	22.2%
企業側(農業側)のニーズと障がい者の能力のマッチングに関すること	7	38.9%
その他	1	5.6%
全体	18	

また、「その他」の記載内容については、下記のものであった。

- ・農福に関する相談窓口

5) 障がい者の雇用を拡大に向けた意見等（自由記述）

①今金セミナー

【地域の連携】

- ・地域の連携が必要だと感じた。
- ・（「ひかり」等）と商工会・街の連携。

【雇用先の確保】

- ・安定した雇用先の確保。
- ・安定した仕事（作業）の確保、住居の確保、生活のサポート

【企業との理解】

- ・各分野へ周知が必要。
- ・雇用側の理解をひろげること。
- ・今回の研修を定期的に行うと更に内容が深まると思った。

- ・具体的な取組事例（制度）の紹介（労賃等）。

#### 【関係機関との連携】

- ・雇用後の関係機関との連携。
- ・雇用する側、される側のパイプをする基幹は必要。
- ・コーディネート業務を調整する機関の役割が重要。

#### 【障がい者の生活支援】

- ・障がい者就業・生活支援センター的な物。
- ・生活支援のあり方。
- ・安定した仕事（作業）の確保、住居の確保、生活のサポート。
- ・就労と生活は一体であると考えられ、生活の安定が仕事のやる気につながり幸せになると思うので、住む場所の確保がとても大きな部分。

#### 【就労の支援】

- ・仕事と障がいのマッチングをどうしたらよいのかが課題。
- ・コーディネートする機関の存在。ジョブコーチの存在。
- ・就労支援センター、ジョブコーチ。

#### 【その他】

- ・就労後の就労や生活に係る相談窓口をある程度、一本化することが必要ではないか（企業が困ったときに「ここに相談に行けばなんとかなる」という場所を決める）。

#### 【勉強会について】

- ・不得意な部門が多い中、色々な人の意見を聞かせて頂き、勉強になった。不勉強なのでもう少し色々な意見を聞きたい。
- ・初めての分野の話でしたが、町としてとても熱心に取り組んでいる姿が見受けられた。これからももっと広く周知して、つづけていただきたい。
- ・もう少しはっきりとお金の事や障がいの事を聞きたい。

#### 【障がい者雇用について】

- ・雇用先の声をもっと聞きたい。
- ・雇用しやすい制度説明。（就労者は育てるので問題ではない。）
- ・障がい者雇用が早く実現すればいいと思う。
- ・障がいを持つ方は特性によりそれぞれなので、実習の様子を見てもあまり参考にならないと思う。それよりも雇用側が短い期間でも受け入れてみてはどうか。

#### 【その他】

- ・これらの商工会の活動も随時町民に発信するべき。

## ②札幌セミナー

### 【研修の成果について】

- ・全道ベースの研修はとても情報交換によかった。
- ・グループワークの発表は大変参考になった。
- ・同じグループの方々からご教示いただき、大変勉強になった。マクロな視点とミクロな視点両方から障害者雇用のあり方を分析し、先へつなげる重要性を感じた。

### 【連携の必要性】

- ・関係づくりを更に行うためにもこのような研修を定期的を開いて欲しい。
- ・ネットワーク作りをもっと活発に働きかけてほしい。行政が音頭をとるのはとても良い機会になると思う。

### 【研修の開催時期等】

- ・日中のグループワークは良いと思う。福祉関係は夕方～夜のセミナーが多く、仕事の疲れが出て身に入らないか、欠席してしまう事が多い。

### 【その他】

- ・企業の経営状況が不安定になると障がい者雇用も困難になる。障がい者雇用企業に対する優遇制度、政策入札等の制度整備は不可欠と思います。

## ③北見セミナー

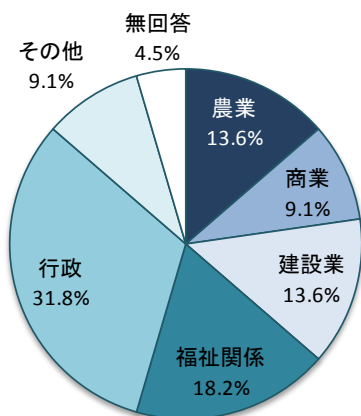
- ・行政が主導し各所の共通理解が必要と思う。

## 6) 回答者の属性

### ①今金セミナー

回答者の業種については、行政が31.8%（7人）と最も多く、次いで「福祉関係」が18.2%（4人）となっている。

図表 12 回答者の業種（所属）（N=22）



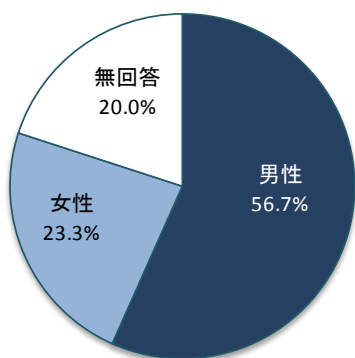
	件数	割合
農業	3	13.6%
商業	2	9.1%
建設業	3	13.6%
福祉関係	4	18.2%
行政	7	31.8%
その他	2	9.1%
無回答	1	4.5%
合計	22	100.0%

②札幌セミナー

a. 性別

回答者の性別は、「男性」が 56.7% (17 人)、「女性」が 23.3% (7 人) となっている。

図表 13 回答者の性別 (N=30)

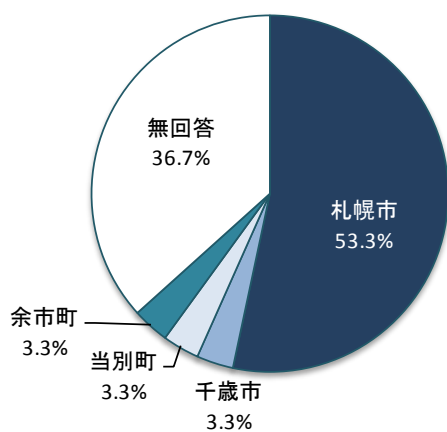


	件数	割合
男性	17	56.7%
女性	7	23.3%
無回答	6	20.0%
合計	30	100.0%

b. 住所

回答者の住まいについては、「札幌市」が 53.3% (16 人) となっている。

図表 14 回答者の住所 (N=30)

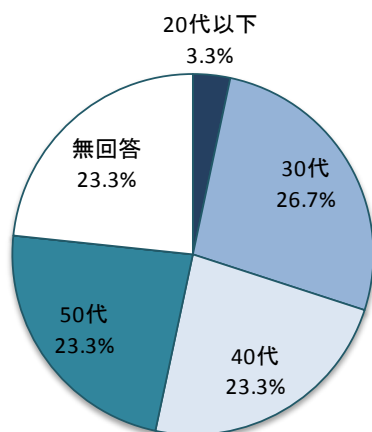


	件数	割合
札幌市	16	53.3%
千歳市	1	3.3%
当別町	1	3.3%
余市町	1	3.3%
無回答	11	36.7%
合計	30	100.0%

c. 年代

回答者の年代については、「30代」が26.7%（8人）と最も多く、「40代」「50代」がいずれも23.3%（7人）となっている。

図表 15 回答者の年代（N=30）

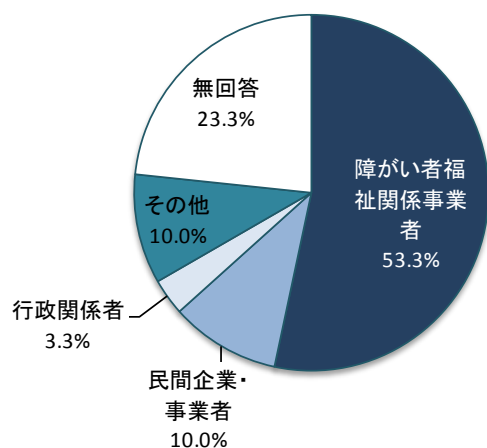


	件数	割合
20代以下	1	3.3%
30代	8	26.7%
40代	7	23.3%
50代	7	23.3%
60代	0	0.0%
70代以上	0	0.0%
無回答	7	23.3%
合計	30	100.0%

d. 所属

回答者の所属については「障がい者福祉関係事業者」が53.3%（16人）と最も多く、次いで「民間企業・事業者」「その他」がいずれも10.0%（3人）となっている。

図表 16 回答者の所属（N=30）



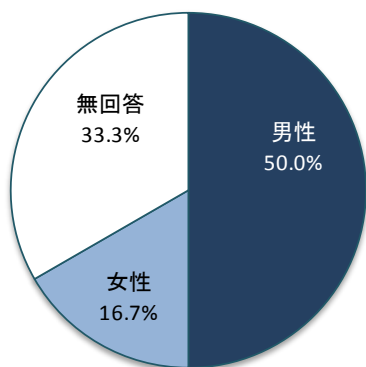
	件数	割合
障がい者福祉関係事業者	16	53.3%
民間企業・事業者	3	10.0%
行政関係者	1	3.3%
その他	3	10.0%
無回答	7	23.3%
合計	30	100.0%

### ③北見セミナー

#### a. 性別

回答者の性別は、「男性」が 50.0% (9 人)、「女性」が 16.7% (3 人) となっている。

図表 17 回答者の性別 (N=18)

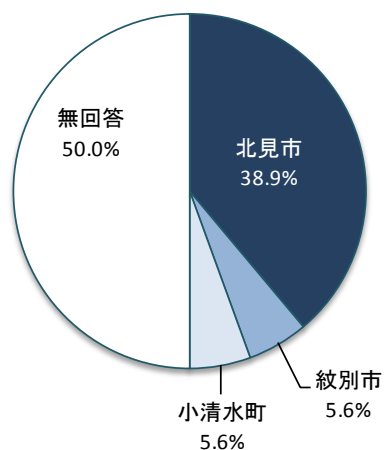


	件数	割合
男性	9	50.0%
女性	3	16.7%
無回答	6	33.3%
合計	18	100.0%

#### b. 住所

回答者の住まいは、「北見市」が 38.9% (7 人) と最も高く、「紋別市」「小清水町」がそれぞれ 5.6% (1 人) となっている。

図表 18 回答者の住所 (N=18)

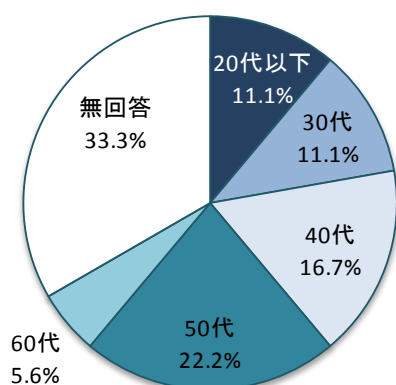


	件数	割合
北見市	7	38.9%
紋別市	1	5.6%
小清水町	1	5.6%
無回答	9	50.0%
合計	18	100.0%

c. 年代

回答者の年代は、「50代」が22.2%（4人）と最も高く、次いで「40代」が16.7%（3人）、「20代以下」「30代」がいずれも11.1%（2人）となっている。

図表 19 回答者の年代（N=18）

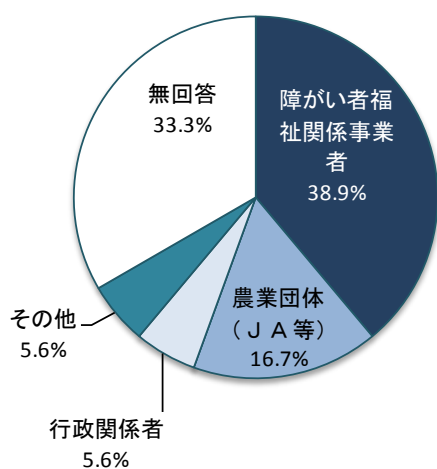


	件数	割合
20代以下	2	11.1%
30代	2	11.1%
40代	3	16.7%
50代	4	22.2%
60代	1	5.6%
70代以上	0	0.0%
無回答	6	33.3%
合計	18	100.0%

d. 所属

回答者の所属については、「障がい者福祉関係事業者」が38.9%（7人）と最も高く、次いで「農業団体（JA等）」が16.7%（3人）となっている。

図表 20 回答者の所属（N=18）



	件数	割合
障がい者福祉関係事業者	7	38.9%
農業団体（JA等）	3	16.7%
福祉・農業分野以外の企業	0	0.0%
行政関係者	1	5.6%
その他	1	5.6%
無回答	6	33.3%
合計	18	100.0%

## IV モデル構築及び成果指標などの実績

### (1) 地場産業における障がい者就労の場づくり モデル地域の取り組み概要

#### ■モデル地域（団体）の抽出

担い手不足の地場産業の掘り起こしや本事業を実施する中で得た情報を踏まえて、障がい者の就労の場としてモデルとなりうる団体を抽出した。それらの団体に対して、現在の取り組み状況・課題、今後どのように農福連携に取り組んでいきたいのかについてヒアリングを行った。そこで出た話をもとにそれぞれの団体や地域において「障がい者就労の場づくり」を推進していくために必要な体制作りの支援を行った。

#### ■モデル地域の取り組みについて

プロジェクト名	地域	産業	取り組み概要
1 大規模畑作地域における通年で障がい者の就労の場づくり	小清水町	農業	町とJAが連携し、農作業と選果場作業を組み合わせることで通年の就労の場づくりを目指している取り組み。町内に障がい者就労支援事業所がないため、近隣の市町村の事業所や養護学校の実習受入れから始め、将来的にはJAでの一般雇用や町内に新たに就労支援事業所を設置することを目指す。 農業現場での就労事例の視察や、近隣市町村の障がい者就労支援事業所の利用者による選果場作業の実習を行った。
2. 商工会が中心となった障がい者の働く場づくり	今金町	商工業	町内にある高等養護学校の生徒が卒業後に町内で就職ができる環境を整え、障がい者の就労の場を構築すると同時に、中小企業での人材確保、町の人口減少に歯止めをかけることを目的とした取り組み。 商工会が中心となって会員企業に声掛けをし、職場実習を実施した。業種によっては通年雇用が難しいケースもあるため、ワークシェアリングの仕組み構築に向けた検討も行った。
3 観光案内窓口を拠点とした障がい者の就労の場づくり	札幌市	観光業	札幌駅の建物内に設置された「北海道ユニバーサル観光センター」において障がい当事者も窓口対応を行い、障がい者を含めてすべての人が北海道旅行を楽しむようサポートする取り組み。 窓口や活動の周知や、ユニバーサルツーリズムの普及に繋がる活動を実施した。



<b>モデル地域 1：農業</b>
-------------------

<b>大規模畑作地域における通年での障がい者の就労の場づくり</b>
------------------------------------

<b>小清水町</b>
-------------

### (1) 取り組み概要

町と JA が連携し、農作業と選果場作業を組み合わせることで通年の就労の場づくりを目指している取り組み。

町内に障がい者就労支援事業所がないため、近隣の市町村の事業所や養護学校の実習受入れから始め、将来的には JA での一般雇用や町内に新たに就労支援事業所を設置することを目指す。

### (2) 構成員

JA こしみず、小清水町役場、北海道網走養護学校、JA 中央会北見支所

### (3) 本事業で行った主な活動内容

#### ●地域内の連携体制の構築

- ・振興局、養護学校、近隣市町村の障がい者就労支援事業所を訪問し、意見交換を行うとともに今後の連携可能性について意見交換を行った。

#### ●先進的な取り組みを視察・情報収集

- ・畑作で障がい者就労を行っている就労支援事業所を視察。ここでは、地域の農家と受委託契約を結び、農作業を行っている。
- ・実際の畑で農作業をしている様子を見学し、障がい者を受け入れている生産者に聞き取りを行った。また、事業所の代表から農作業を行うまでの手順や契約手続き、単価の算出についても話を聞いた。

#### ●近隣市町村の障がい者就労支援事業所と連携し、農作業（選果場作業）を実施

- ・小清水町内には障がい者就労支援事業所がないため、近隣市町村の施設に協力を依頼。その事業所に通う利用者 2 名に小清水町に来てもらい、農作業を実施（2 日間）。
- ・当初の予定では、カボチャ収穫作業とニンジン選果作業を実施する予定だったが、悪天候のため野外作業ができず、ニンジン選果作業とブロッコリーの選果・箱詰め作業を行った。

#### ●町全体の取り組みに発展させるための下地づくり

- ・本プロジェクトと並行して町では国の地方創生施策の流れを受け、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定していたことから、農業分野での障がい者の就労の場づくりについても戦略の中に位置づけられるように町と JA での調整をサポートした。

### (4) 今後の展開

- ・本事業での実践を通して、平成 28 年度より網走養護学校の現場実習を小清水町・JA こしみずで受け入れる。
- ・この取り組みが「小清水町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の農業担い手対策の一部に位置付けられたため、地方創生の動きと併せて本取り組みを継続し、障がい者就労支援事業所の立ち上げやグループホームに設置を目指す。

<b>モデル地域2：商工業</b>
-------------------

<b>商工会が中心となった障がい者の働く場づくり</b>
------------------------------

<b>今金町</b>
------------

### (1) 取り組み概要

町内にある高等養護学校の生徒が卒業後に町内で就職ができる環境を整え、障がい者の就労の場を構築すると同時に、中小企業での人材確保・人口減少に歯止めをかけることを目的とした取り組み。

### (2) 構成員

今金町商工会、今金町、JA 今金町、社会福祉法人光の里、北海道今金高等養護学校

### (3) 本事業で行った主な活動内容

#### ●取り組み状況の整理

- ・活動の中心となっている今金町商工会、町内に暮らす障がい者視線の母体となる社会福祉法人光の里に訪問し、養護学校卒業生の就労の場・生活の場を確保していくために必要なこと、課題等について整理した。

#### ●養護学校職場実習の視察・ヒアリング調査

- ・養護学校生徒が町内の企業で職場実習をしている現場を視察。実習を行っている生徒および受け入れ側の企業担当者より障がい者就労に対する話を聞いた。
- ・生徒からは職場環境になじむ努力をしていたり、不安に感じている部分があるという話が挙げられた。企業担当者からは、期待以上によく仕事をしてきているという評価がある一方で、今の仕事ぶりが継続されるかどうか、トラブルが起きた時に対処方法等の不安点も挙げられた。

#### ●障がい者雇用マニュアル作成に対する助言

- ・協議会では、障がい者雇用の理解を深めるためにマニュアルを作成。作成にあたって助言を行った。

#### ●障がい者雇用の機運を高めるための勉強会開催

- ・今後、さらに障がい者就労の受け皿を増やしていくために、商工会会員を中心に勉強会を開催。勉強会には、行政職員・養護学校教員・福祉施設職員も参加。
- ・商工会が取り組むプロジェクトの概要説明、養護学校の職場実習の様子の報告を行ったのち、グループに分かれてワークショップを行った。ここでは、企業側・福祉側それぞれが抱く障がい者就労への不安を出しあい、その不安をどうすれば解決しているか意見を出し合った。

### (4) 今後の展開

- ・商工会が中心となり、今回作成したマニュアルを活用して町内企業における障がい者理解の促進に取り組む。また、ワークシェアリングができるよう商工会が中心となった「まちづくり会社」設立に向けた準備も併せて行い、町内における障がい者の就労の受け皿づくりを目指す。

<b>モデル地域3：観光業</b>
-------------------

<b>観光案内窓口を拠点とした障がい者の就労の場づくり</b>
---------------------------------

<b>札幌市</b>
------------

### (1) 取り組み概要

札幌駅の建物内に設置された「北海道ユニバーサル観光センター」において障がい当事者も窓口対応を行い、障がい者を含めてすべての人が北海道旅行を楽しめるようサポートする取り組み。

### (2) 構成員

一般社団法人日本 UD 観光協会、エヌビーツーリストサービス株式会社、NPO 法人北のユニバーサルデザイン協議会、株式会社 HK ワークス、NPO 法人ライフ、NPO 法人札幌アシストセンター・マザー

### (3) 本事業で行った主な活動内容

#### ●協議会設立に向けたサポート、協議会運営に関する意見交換

- ・12月に札幌駅内に開設した「北海道ユニバーサル観光センター・札幌※」の運営主体となる「北海道ユニバーサルツーリズム推進協議会」設立にむけ、協議会運営のための助言やパンフレット作成に関する協議等を行った。

#### ●活動周知のためのフォーラム開催

- ・北海道ユニバーサルツーリズム推進協議会の活動および「北海道ユニバーサル観光センター・札幌」の周知を目的としたフォーラムを開催。
- ・「北海道ユニバーサル観光で地域を豊かに」というテーマで、2つの基調講演とパネルディスカッションを行った。基調講演では、国土交通省北海道運輸局より「障害者差別解消法施行と求められる対応」、神戸ユニバーサルツーリズムセンターより「先進事例に学ぶ神戸のユニバーサルツーリズム」というタイトルで講演をいただいた。
- ・また、講演会場の隣でユニバーサル観光体験ブースを設け、盲導犬体験や車いす体験、カラーユニバーサルデザインの展示等も実施した。

### (4) 今後の展開

- ・札幌市内の障がい者就労支援事業所等に通う障がい者が、「北海道ユニバーサル観光センター・札幌」のツアーデスクで活躍できる環境を整える。そうすることで、観光客や観光事業者と接点が生まれ、観光業やその他業種での就労に向けた訓練の場となることを目指す。
- ・札幌以外にも函館や旭川などでもバリアフリー観光に取り組む動きがあり、これらの団体と連携することで、さらに観光業での障がい者就労の場づくりを進めていく。

#### ※「北海道ユニバーサル観光センター・札幌」

車いす利用者・視覚・聴覚・知的障がいのある方等、介護・介助が必要な人でも安心して北海道内を観光できるようサポートを行う窓口。サポート窓口となるデスクには障がい当事者もスタッフとして入り、それぞれの視点で観光情報の発信を行っている。

(2) モデル地域での障がい者の就労又は就労訓練実施実績

モデル地域 (市町村名など)	福祉との 連携産業分野	就労／訓練 の別	性別	年齢	就労時期 (訓練期間)	企業等の名称 (就労先/訓練先)
小清水町	農業	訓練	男性	19歳	9月3日～4日	JAこしみず
小清水町	農業	訓練	男性	19歳	9月3日～4日	JAこしみず
今金町	製造業	訓練	男性	18歳	8月24日～10月9日	(株)ホクノウ機器販売
今金町	商工業	訓練	女性	18歳	8月24日～10月9日	Aコープいまかね
札幌市	観光業	訓練	女性	44歳	12月3日～	北海道ユニバーサル観光センター・札幌
札幌市	観光業	訓練	男性	22歳	12月3日～	北海道ユニバーサル観光センター・札幌
札幌市	観光業	訓練	男性	21歳	12月14日～	北海道ユニバーサル観光センター・札幌
札幌市	観光業	訓練	男性	42歳	1月13日～	北海道ユニバーサル観光センター・札幌
札幌市	観光業	訓練	女性	41歳	2月1日～	北海道ユニバーサル観光センター・札幌
札幌市	観光業	訓練	女性	57歳	3月1日～	北海道ユニバーサル観光センター・札幌
札幌市	観光業	訓練	女性	41歳	3月1日～	北海道ユニバーサル観光センター・札幌

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）

**多様なしごとづくり事業委託業務 実施報告書**

**【委託者】** 北海道 保健福祉部 福祉局 障がい者保健福祉課  
〒060-8588 札幌市中央区北 3 条西 6 丁目  
TEL 011-204-5278  
FAX 011-232-4068

**【受託者】** 一般社団法人北海道総合研究調査会

発 行 平成 28 年 3 月